令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

| 自治体名 | 東京都 |
|------|-----|
|------|-----|

【基本情報】

| フリガナ | ክፓ' ኦɨክ' イシャ ሀፓ' ᠘ |
|-----------------|--|
| 法人名 | 株式会社リズム |
| フリガナ | IJΣ Δ=ΣΥ₹54\$' Α'Σ |
| 事業所名 | リズム西新井大師 |
| 提供サービス(複数のサービスで | 提供している場合は、主たる1つのみ選択) |
| | 生活介護 |
| 職員数(常勤換算数) 【「全 | 職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】 |
| | 6.1 人 |
| ICT機器等導入完了日 | 令和 5年 5月 1日 |

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

| 業務内容 | ICT機器等の導入・活用状況 |
|---------------|---|
| 支援記録の作成 | ②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている) |
| 職員間の情報伝達・情報共有 | ①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている) |
| 請求業務 | ③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている) |
| 勤怠管理 | |
| シフト表作成 | |
| 給与業務 | |

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

| . (-) - : : : : : : : : : : : : : : : : : : | .,, . | | | |
|---|-------|---------|-----|----|
| ICT機器等の種別 | 導入目的 | 製品名 | 台 数 | 備考 |
| ⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト | | 介舟ファミリー | 1 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
 - ・情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
 - なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

| | | 発生件数 | | C. 1件当たりの | 年間業務時間 | 1人あたり | |
|-------|--------|------------------|--------------------|-----------|-------------------|--------------------|----|
| 業務内容 | 業務従事者数 | A.ひと月当たり 発生件数 | B.年間発生件数 (A×12) | 平均処理時間 | 中间来协时间 D (B×C) | 業務時間 (D/業務従事者数) | 備考 |
| ③請求業務 | 1人 | 290 件 | 3,480 件 | 10 分 | 580 時間 | 580 時間 | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | 290 件 | 3,480 件 | 10 分 | 580 時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の%1及び%2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A 7Nと日当たり発生件数の管出方法

| ・水・バ、ひと行当たり光上自然や葬出方法 |
|----------------------|
| ③利用者数×ひと月平均の利用回数 |
| |
| |
| |

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

③利用実績の記入、実績入力、加算入力、入力内容の確認、帳票印刷

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

| © 10 11級電子等/(及り未分的同じ) 10 (| | | | | | | |
|----------------------------|--------|----------|----------|------------|---------|------------|----|
| | | 発生件数 | | C. 1件当たりの | 年間業務時間 | 1人あたり | |
| 業務内容 | 業務従事者数 | A.ひと月当たり | B.年間発生件数 | 平均処理時間 | D (B×C) | 業務時間 | 備考 |
| | | 発生件数 | (A×12) | 1 -52-2-10 | 5 (5 0) | (D/業務従事者数) | |
| ③請求業務 | 1人 | 290 件 | 3,480 件 | 3分 | 174 時間 | 174 時間 | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | | 0 件 | | 0 時間 | #DIV/0! | |
| | | 290 件 | 3,480 件 | 3分 | 174 時間 | #DIV/0! | |

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

③利用実績の記入、実績入力、加算入力、入力内容の確認、帳票印刷

年間業務時間数削減率(%)

③利用者数×ひと月平均の利用回数

70.0%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

| | 作成文 | 書量 |
|--------|----------|---------------------|
| 作成文書 | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) |
| 請求関係書類 | 210 ページ | 2,520 ページ |
| | | 0 ページ |
| | | 0 ページ |
| | 210 ページ | 2,520 ページ |

(4) ICT機器等導入後の作成文書量

| ● 101版前寸等八及の1FM入目室 | | | | | |
|--------------------|----------|---------------------|--|--|--|
| | 作成文 | 書量 | | | |
| 作成文書 | A.ひと月当たり | B.年間作成文書量 (A×12) | | | |
| 請求関係書類 | 70 ページ | 840 ページ | | | |
| | | 0 ページ | | | |
| | | 0 ページ | | | |
| | 70 ページ | 840 ページ | | | |

年間作成文書量削減率(%)

66.7%

- (4) ICT機器等の導入効果
- ① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法
- ・介舟ファミリーのエンジニアによる複数回の説明会にて、システムの基本や日常業務から請求までの流れ・入力方法など事細かく教わる。
- ・会社全体で一括導入したため、全社通しての基本ルールの取り決めなど準備を入念に行った。
- ・利用者支援や日常業務と並行して初期設定作業を行ったため、その時間を取るのに苦労した。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。 また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)

| ②101 成品寺の停入による未彷の友化 (後奴廷扒門) | |
|--|--|
| 情報端末導入による効果 | ソフトウェア 導入による 効果 |
| □ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 □ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 □ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。 □ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。 □ 5 その他の効果があった。 □ 6 効果がよかった。 | ☑ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。 ② 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。 ☑ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。 ☑ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。 □ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。 ☑ 6 その他の効果があった。 |
| ※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。 | □ 7 効果がなかった。 ※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。 効率化により内動業務の時間が大幅に減り、ミーティングやケース会議の時間が増えた。 |

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

・実績の入力から請求書類作成まで1つのソフトで完結できるようになり、1つの項目を入力することで他の作業項目とリンクされるため、重複した入力作業が大幅に減っている。また、入力の不 備等も自動で表示され、訂正するものがすぐにわかるようになった。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、 具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

- ・活動や支援などについて職員間で検討する時間の確保
- ・環境整備の時間の確保
- 会議やミーティング等職員のコミュニケーションの時間の確保

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

| _ | CT機器等の導入による費用の縮減 | 無 |
|---|------------------|---|

imesICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

| 縮減額(円) | |
|------------------------|--|
| 職員の賃上げ等への充当 | |
| その他職場環境の改善への充当(※1) | |
| サービスの質の向上に係る取組への充当(※2) | |

| (%1) | 「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。 |
|---------|---|
| | |
| | |
| | |
| <u></u> | |
| (%2) | 「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。 |
| | |
| | |
| | |
| | |